

別紙

「キャッシュレス決済に関する調査」

■調査手法：調査会社保有のモニターを活用したインターネットアンケート調査

■調査時期：2025 年 10 月 17 日～10 月 20 日

■調査エリア：一都三県（東京都/神奈川県/埼玉県/千葉県）

■調査対象者：15～69 歳男女

■サンプル数：1,500 サンプル

※一都三県の性年代人口構成比で割付

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	計
男性	49	124	139	174	157	119	762
女性	47	121	133	168	149	120	738
計	96	245	272	342	306	239	1,500

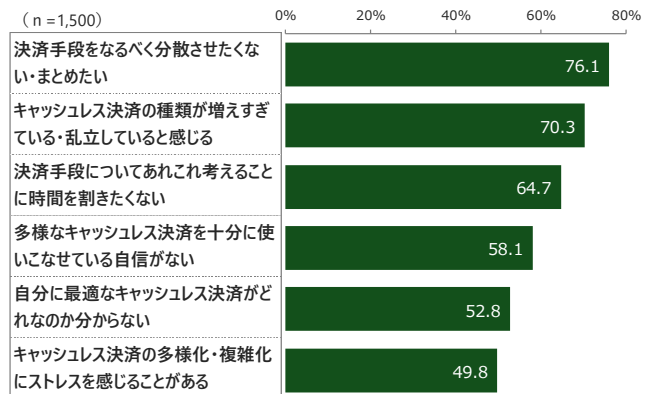
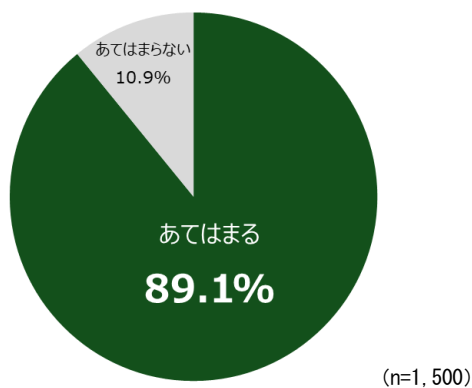
調査結果概要

キャッシュレス疲れ・ストレス、キャッシュレスへの抵抗感

生活者の約 9 割が、キャッシュレスの多様化・複雑化に何らかの疲れやストレスを感じている

一都三県にお住いの 1,500 人を対象にキャッシュレスに関する調査を行った結果、キャッシュレス決済の利用が広がる一方、約 9 割の人が多様化・複雑化に何らかの疲れやストレスを感じていることが分かりました。

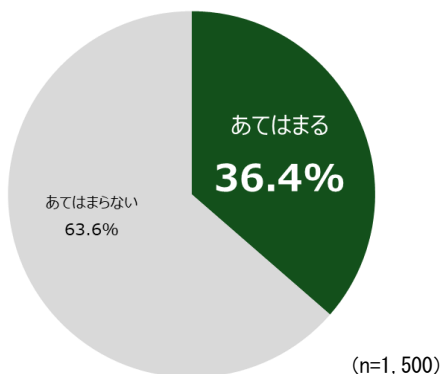
キャッシュレスの多様化・複雑化に 何らかの疲れやストレスを感じている（※）



※右グラフに記載の 6 項目のいずれかに「あてはまる」と回答した人の割合

生活者の 3 人に 1 人が、今なおキャッシュレス決済に抵抗感・不安感を抱いている

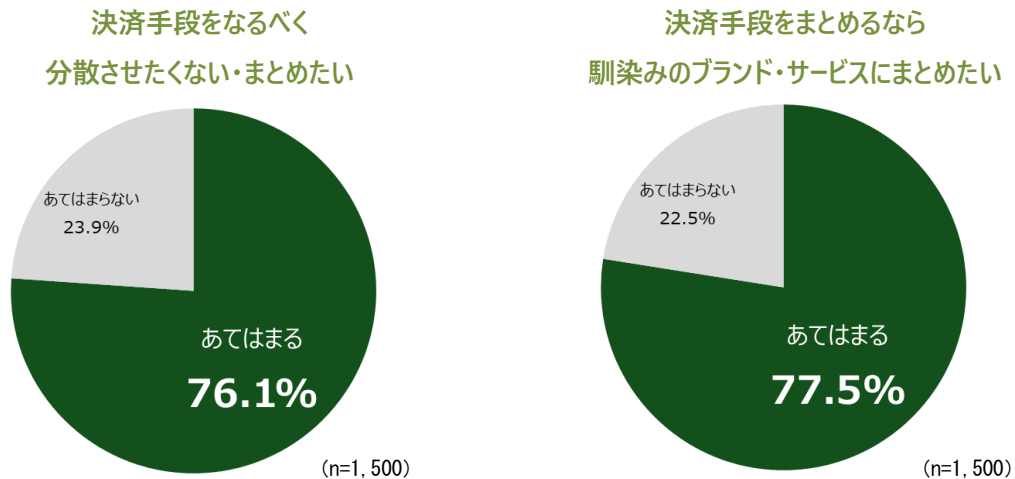
キャッシュレス決済になんとか抵抗感・不安感がある



馴染みの決済手段にまとめたい

生活者の8割弱が決済手段をまとめたい、まとめるなら馴染みのブランド・サービスにまとめたい

生活者の76.1%が「決済手段をなるべく分散させたくない・まとめたい」と考えています。また、「決済手段をまとめるなら、馴染みのブランド・サービスにまとめたい」と考える人が77.5%と大多数です。



Suica/PASMO への馴染み・安心感・信頼感

キャッシュレス利用経験者における人生初利用キャッシュレスは、Suica/PASMO がトップ

キャッシュレスサービスを利用したことがある人が、人生で初めて利用したサービスは、Suica/PASMO が5割を超えてトップです。若年層ほど Suica/PASMO の割合が高く、30代以下では約7割の人が Suica/PASMO を初めて利用したキャッシュレスサービスと回答しています。

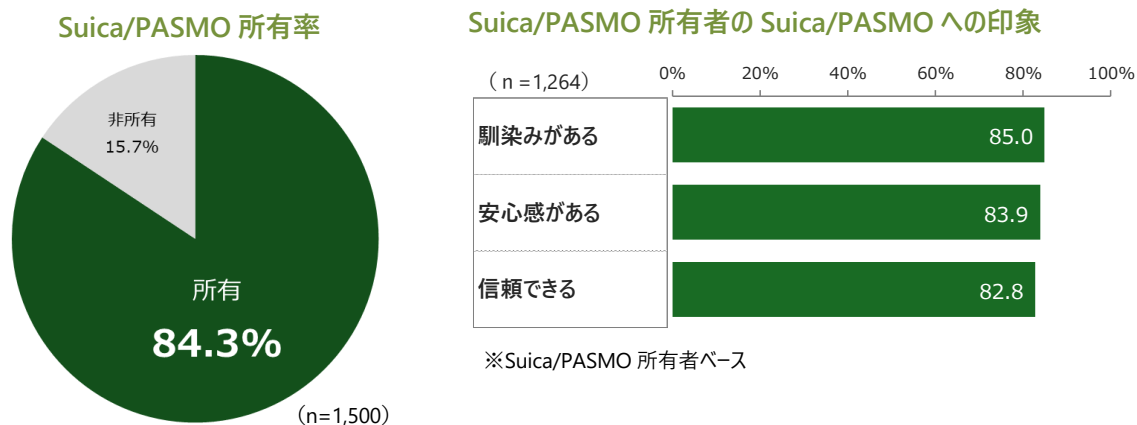
人生で初めて使ったキャッシュレスサービス

	全体 (n=1,381)		30代以下 (n=535)	
1位	Suica/PASMO	52.4%	Suica/PASMO	71.4%
2位	クレジットカード	30.4%	QRコード決済	12.0%
3位	QRコード決済	9.7%	クレジットカード	9.2%
4位	Suica/PASMO 以外の電子マネー	6.4%	Suica/PASMO 以外の電子マネー	6.5%
5位	その他	1.1%	その他	0.9%

※キャッシュレスサービス利用経験者ベース

高い所有率の Suica/PASMO。所有者の大多数が、馴染み・安心感・信頼感を抱く

一都三県の生活者における Suica/PASMO 所有者は 84.3%と高い所有率になっています。
また、所有者の 8 割以上が Suica/PASMO ブランドに対して、馴染みや安心感、信頼感を抱いています。



交通・電子マネーの領域で多くの方に馴染みのあるモバイル Suica・モバイル PASMO が、多様な決済シーンに対応できるように進化し、キャッシュレスに関するストレスを解消することで、ご利用のお客さまへ、さらに快適な暮らしを提供します。